

ほんべつ

議会だより

No.52

平成22年2月1日発行



お母さん、おいしかったね

1月14日 仙美里小学校おやこ料理教室

の12人に

(一般議員は185,000円)



議員定数・報酬議論が終了

活性化策は3月に結論へ

平成20年12月定例会で設置された本別町議会の活性化等調査特別委員会（議長を除く14人）は、各部会を含めて1年間計87時間の議論を経て、平成22年一般選挙から、議員定数を3人減員の12人とし、議員報酬は現行維持とすることを決定いたしました。

定数

高橋利勝特別委員会委員長

は、各議員からの意見を踏まえ、主に3人減の意見に集約されるものと判断し、現行の議員定数を15人から3人減員した12人とする委員長報告をしました。

【これまでの意見（抜粋）】

4人減とする意見

・町民アンケートを見ても3人以上の減が圧倒的に多い。町民の意思を尊重し、また人口減、2常任委員会の構成も考え、ぎりぎりの4人減としたい。

この委員長報告は、12月8日の採決において賛成11、反対3で可決しました。

2人減とする意見

・極端な削減は避けるべき。議員個々の活動が町民に見えるようにしっかりと

3人減とする意見
・住民アンケートの声を大切にすべき。委員会構成を考えたときは13人かなという考えもあるが、住民の声を考えた場合3人減の12人としてほしい。

現行維持とする意見

・町民に不利益とならないことが大切。町民のいろいろな意見、要望を反映する議員の責務を果たすためにも現行の定数が守られるべき。

働くことが大切。2常任委員会の活発な活動も必要であり2人減の13人としてほしい。

委員長報告（中間報告）

1. 議員定数は、現行定数より3人削減し、議員定数を12人とし、次期一般選挙より実施する。
2. 議員報酬は、これから新しく議員を志す人のためにも、現行の報酬額を維持する。
3. 議会の活性化対策は、「議会の運営」、「町民に開かれた議会」、「議員活動の向上と倫理」の各種取り組みを引き続き行う。
4. 町財政は、経常収支比率、実質公債費比率はわずかに改善の方向だが、依然厳しい見込みである。

「議員定数」と「議員報酬」に関する1と2の項目につきましては最終報告とします。

議員定数・報酬発言内容、採決状況

| 氏名 | 11月9日委員会発言内容 | | 12月8日委員長報告採決 | | 12月16日定例会条例改正 |
|-------|---------------------------------|--------|--------------|--------|---------------|
| | 定数 | 報酬 | 定数3人減 | 報酬現行維持 | 定数3人減 |
| 永井 | 4人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 山西 | 3人減 | 下げる | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 戸田 | 3人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 黒山 | 2人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 小笠原 | 2人減 | 現行維持 | 反対 | 賛成 | 反対 |
| 山田 | 3人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 三好 | 3人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 佐川 | 2人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 方川(英) | 現行維持 | 現行維持 | 反対 | 反対 | 反対 |
| 方川(一) | 2人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 林 | 3人減 | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 阿保 | 現行維持 | 下げる | 反対 | 反対 | 反対 |
| 目黒 | 4 <small>(11/18 3人減に変更)</small> | 現行維持 | 賛成 | 賛成 | 賛成 |
| 高橋 | -(委員長) | -(委員長) | 賛成 | 賛成 | 賛成 |



報告する高橋委員長

平成22年の一般選挙から

議員定数 3人減

議員報酬は現行維持

定数の条例改正

第4回定例会

12月16日

本別町議会の議員の定数を定める条例の一部改正

議員定数を3人減とする条例改正に対して、討論がありました。採決の結果、賛成11、反対3で可決しました。討論の内容は以下のとおりです。

反対討論

阿保静夫議員

いろいろな立場、いろいろな方が議会に参加されるのが望ましいとの観点から、定数は現行の15人がよいと考え、反対します。

小笠原良美議員

アンケートや懇談会の意見を参考に、定数削減は2人にすべきと考えます。より多くの人の声を議会に反映させる使命を損なう今回の条例改正には反対します。



賛成討論

林武議員

今回の提案理由のとおり、活性化特別委員会の中間報告を踏まえ、定数を3人減とすることを妥当と判断し、賛成します。

目黒金次郎議員

社会情勢からいっても議員の減はやむを得ないと考えます。12人が一生懸命働くことで、民意は十分把握できると考え、この条例に賛成します。

三好喜美議員

私は住民の声も重視し、定数は3人減の12人という原案に賛成します。

報酬

12月8日の委員長報告で

は、議員報酬については「議員定数を3人減とすることから一定の財政効果を果たすことができる。また、生活補償の一面を併せ持つ議員報酬は、現行維持すべき。」という報告がされました。

採決の結果、賛成12、反対2で可決しました。

【これまでの意見（抜粋）】

現行維持とする意見

・議員活動は議場ばかりでなく、それ以外の場での活動もある。活動に対する最低限の報酬は必要。

削減はやむを得ないとする意見

・定数を減らさないと報酬で財政的な面を考えてほしいと

の意見もあった。報酬が下がっても若い人は志があれば出てくると思う。

委員長報告採決において討論がありました。

討論の内容は以下のとおりです。

反対討論

阿保静夫議員

アンケートの中で報酬が高いとの意見は50%を超えていました。十勝、全道の平均くらいに引き下げることによって、定数を維持した場合にも財政的效果はあると考え、本案に反対します。

賛成討論

目黒金次郎議員

今後は若い人に議員になっていただきたいと思います。経済的な裏づけがなければ不可能だと考えます。生活給となつても、本職がマイナスになる部分に対する報酬があつて当然だと思ひ、本案に賛成します。



第4回定例会

観光情報センター設置条例等を可決

平成21年第4回定例会は、12月8日に開会し、一般質問のほか後期高齢者医療制度に関する条例の一部改正、一般会計他7会計の補正予算などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

条例

観光情報センター設置条例

国のまちづくり交付金事業を活用し、町の観光情報・地域情報発信による交流人口の拡大を目標として共栄に建設された、観光情報センターの運営に関する質疑。

問 観光情報センターの使用料は無料となっているが、どのような利用を想定しているのか。

答 主に24時間トイレとまちの観光情報を発信する施設としています。町全体のPRに利用する場合は無料ですが、物品の売買など貸館はしません。

一般会計補正

町全体に光ケーブルを架設

国の補助金等により、本別市街地北地区以外に光ケーブルを架設し、町内全世帯で高速通信サービスを受けられるよう整備します。また、この事業によって地上デジタル放送の難視聴地域も解消されます。



個人宅への光ケーブル架設

問 無線による高速大容量通信の整備を計画している町もあるようだが、無線通信ではなく光ケーブルによる通信を使うことの有意性は。

答 無線通信では、気候や地形などにより安定的な通信ができないこともあるため、本町は地デジ難視聴などにも対応できる光ケーブルを選択しました。

問 今回の整備によって地デジ難視聴世帯が解消された場合、一般の地デジ視聴世帯との利用料金格差をどのように考えているか。

答 一般の住宅で地デジのアンテナを建てた場合と同程度の負担となるよう、難視聴世帯については年間3,500円程度の範囲内で料金設定をしたいと考えています。

子宮頸がん、乳がん検診

問 国からの受診無料クーポン券の利用状況は。

答 無料クーポン券による受診は現在まで76名です。

道の駅トイレを改修

問 以前から便器の破損やにおいなどを指摘されていたが、どのような改修を行うのか。



改修が待たれる道の駅トイレ

答 男女とも便器の新設・取替と、手すりなども設置します。

また、女子トイレにはおむつの取替ができるベットチェアも新設し、より快適なトイレにできるよう、床や壁なども全面的に改修します。



平成21年度 各会計補正予算

| 会計 | (補正額) 補正後の額 | 主な内容 |
|----------|--------------------------------|---|
| 一般会計 | (11億3,519万5千円) 75億7,847万6千円 | 庁舎・体育館・中央公民館 耐震補強工事 本別コミュニティセンター施設改修工事 光ケーブル架線工事 |
| 国民健康保険 | (△198万4千円) 14億7,900万6千円 | 一般職給 医療材料費(予防接種) |
| 介護保険事業 | (△187万1千円) 6億9,671万3千円 | 職員手当等 |
| 介護サービス事業 | (△146万2千円) 2億8,499万5千円 | 賃金 特別養護老人ホーム施設改修工事 |
| 簡易水道 | (△4,664万6千円) 1億4,249万円 | 簡易水道監視装置更新工事 西美里別地区配水管整備工事 町債償還元金 |
| 公共下水道 | (△529万8千円) 7億2,048万円 | 機械器具修繕料 浄化槽新設工事 |
| 水道事業会計 | (△1,161万1千円) 2億5,250万4千円 | 浄水場高圧受変電設備更新工事 量水器購入費 |
| 国保病院事業会計 | (△1,435万5千円) 16億5,750万6千円 | 一般職給 |

第4回臨時会

開催日 11月30日

条例改正

職員の給与に関する
条例の一部改正

人事院の給与勧告に伴い、給与の改定と、期末手当の支給割合を6月、12月合わせて0.35カ月分削減し、年4.15カ月分の支給となるよう条例改正をいたしました。この改正による21年度の削減額は4,131万2千

円の見込みです。

また、常勤特別職(町長・副町長・教育長)の期末手当も職員と同じ支給割合になるよう削減しました。削減額は38万3千円の見込みです。

議員報酬及び費用弁
償等に関する条例の
一部改正

議員の期末手当についても、職員と同じ支給割合になるよう削減しました。21年度の削減額は74万6千円です。(議員提案)

意見書

第4回定例会に提出された意見書案4件は原案どおり可決され、内閣総理大臣、農林水産大臣など関係機関へ送付しました。

新たな食料・農業・農村
基本計画に関する意見書

新政権下での新たな基本計画は、戸別所得補償制度との整合性を確保し、食料自給力の拡大を図ること。また、持続可能な北海道農業の確立を図るための諸対策を求めます。

提出者 方川一郎



後期高齢者医療制度の速やかな廃止
を求める意見書

提出者 阿保静夫



戸別所得補償制度に関する意見書

提出者 佐川逸雄



電源立地地域対策交付金制度の
交付期間延長等を求める意見書

提出者 黒山久男



行政報告

役場庁舎・中央公民館・
町体育館の耐震補強工
事を実施

国の耐震基準を満たさなかつた3施設について、国からの補助金を活用し、耐震補強工事を実施することとしました。

利用者の多い施設ですが、十分配慮して実施しますので町民の皆様のご協力をお願いします。



耐震補強工事を実施する役場庁舎

この他、平成21年度各会計の予算執行状況、インフルエンザワクチンの予防接種についてなど町長から報告がありました。

一般質問

6名の議員から7問



行政・財政

町内業者の仕事確保と物品購入で商工業振興を

答 町内で間に合うものは町内でを基本に努力しています



阿保静夫議員

阿保議員 中小業者は地域の活力の担い手として、地域経済と社会になくてはならない存在です。また「官公需法」では「中小業者の受注の機会の確保」をうたっています。

①生活道路や公営住宅の整備、補修、その他生活密着型公共事業の創出や事業の前倒し実施など、町内業者の仕事の確保について伺います。

②町の物品購入は、町内業者からの購入が基本だと考えますが、各現場では経費削減との関係で難しい例もあると聞きます。現状と考え方は。

高橋町長 町内で間に合うものは町内というものは当然と考えます。

①前倒しできるもの、補正予算で対応するもの、新年度予算で少しでも早い発注など最大限に取り組んでいます。

②多少の価格差があっても町内業者の努力もいただいて、町内で購入できるものはすべて町内というところで進めています。

平成22年度予算編成方針は

答 元気なまちづくりのため一層弾みのつく予算にします



林 武議員

林議員 平成22年度は第5次総合計画の最終年であり、総仕上げの年であります。以下について伺います。

①歳入の情報を的確に把握し、歳入見通しを立て、事前に予算の総枠を決めながら重点政策へ優先配分すべきと考えますが。

②新政権の政策展開による本町の現状とその影響は。
③5カ年計画で推進しているまちづくり交付金事業の展開は。

高橋町長 ①歳入歳出とも現時点で見込んだ新年度の財政見通しを提示し、歳入の動向を踏まえながら事業の選択と、重点政策に財源の集中化を図ります。

②執行停止となった事業は、

官公需法とは

国や市町村等が物品買入等をする場合、中小企業者に受注の機会をできるだけ多く与えることを目的とした法律です。

銘柄指定の廃止や分離・分割発注の推進など、受注機会増大のための措置が閣議決定されています。



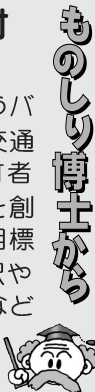
ものしり博士から



道の駅で行われた「収穫祭」

まちづくり交付金事業とは

銀河線廃止に伴うバス転換後の新たな交通拠点や、町民と来町者との交流、賑わいを創出することなどを目標として、現在道の駅や観光情報センターなどの整備を実施しています。



ものしり博士から

子育て応援特別手当のみであり、その他は既に事業採択が内示済みで大きな影響はないと考えています。

③新政権の事業仕分けでは、地方自治体に任せるとのことですし、財源も移譲されるものと期待をしています。残り2カ年鋭意取り組んで参ります。



22年度予算査定

福祉・暮らし

道路の除雪及び雪捨て場の整備について

答 雪質によって出動の体制を変え工夫します



黒山久男議員

黒山議員 ①近年は真冬に雨を含んだ雪が降るなど、シャーベット状態の雪により道路が危険な状況にあります。出動基準に満たない場合の除雪対応は。

②愛のかけ橋雪捨て場は早朝除雪がされていないため、雪捨てができません。また、堤防などの斜面がアイスバーンで、車が渋滞するなど整備が必要と考えますが。

③旧営林署跡地を雪捨て場として利用できないか見解を伺います。

高橋町長 ①雪質によつて出動の体制を変え、い



愛のかけ橋 雪捨て場（南4丁目）

ろいろ工夫を凝らして効果を上げるよう考えていきます。

②通学路をあけた後に雪捨て場の除雪（午前8時）を行います。除雪の作業工程の中に組み入れ早めに対応します。また、スリップ防止対策など、十分に現地パトロールを行い、対応を検討したいと思います。

③芝を養生することになっていますので活用は難しいです。

向陽町団地個別改善計画のプロセスは

答 2月以降協議に入り、その後対象者と個別の相談に入ります



高橋利勝議員

高橋議員 向陽町団地公営住宅個別改善計画について伺います。

①平成23年度のスタートまでどのようなプロセス（手順）で行われるのか。

②なるべく早く自治会及び入居者に概要を説明して協議に入るべきと思うが。

③間取りの変更については、どのようなようになっていくのか。

④個別の対応に当たっては、丁寧に取り組むべきと思うが。

高橋町長 ①②個別改善工事のプロセスについては、改善設計委託は3月12日までですが、入居の判断材料である間取りや

家賃が推定できる2月以降に入居者、自治会の役員の方々と協議をし、その後23年度対象の方と個別に相談していきます。

③間取りにつきましては、3DK1棟6戸を1LDK3戸と2LDK2戸に、3DK1棟4戸を1LDK4戸と考えています。

④個別の協議については、十分にそれぞれ状況を把握しながら取り組んでいきます。



改善される向陽町団地

本別川鉄橋とは

明治41年に建設され、旧ふるさと銀河線廃線まで町民の鉄路として利用されていました。橋台部分には本別空襲時の銃弾跡が残っているとされ、戦争の爪あとを物語る重要な財産とされています。

ものしり博士から



安心・安全な町づくりを

街頭に防犯カメラを設置すべきでは 答 防犯組織が努力しているので設置の必要はありません



目黒金次郎議員

目黒議員 最近の報道を見ると、凶悪犯罪が発生した場合、「防犯カメラ」が事件解決に貢献しております。

①個人商店に対し、「屋内型設置」指導を行うべきだと思いますが。
②「街頭型設置」は自治体が行うべきと思いますが見解を伺います。

高橋町長 ①企業内の設置については、抑止力もありますので企業の責任で設置すべきだと思います。

②街頭型設置については、本町は警察機関や各種の自治組織が、安心・安全な町づくりのために努力していますので、「防犯カメラ」の設置は必要ないと思っています。

目黒議員 本町の地域では、自治防犯組織が活発に展開していますが、抑止力として設置すべきではと思えますが。

高橋町長 その必要はありません。犯罪の無い、起こらない町づくり、人づくりをいたします。



教 育

本別川鉄橋等の保存か撤去の選択は 答 最小限の経費で保存していくよう検討します



戸田 徹議員

戸田議員 平成20年9月の定例会で、私が質問した銀河線跡地の有効利用について、**本別川鉄橋**の保存か撤去に対する結論を21年度末までに出すとの答弁がありました。

①1年3カ月の間、鉄橋等について道との話し合いは。

②保存会等との話し合いは。

③撤去した場合の費用と保存する場合の工事費、維持費の試算は。

④歴史的にも戦争という忌まわしい証として保存すべきと思うが、町長の考え方を伺います。

高橋町長 ①自治体が責任をもって管理するのであれば保

存が可能との答えです。
②保存してほしいとの要請があり、諸課題はありますが町民の自主性と創意工夫を生かした保存を検討してきました。

③全撤去費は1,500万円程度です。保存の場合は耐震度調査で120万円、維持費は年間約20万円かかると試算しています。

④町民の協力を得て、最小限の経費で保存できるよう十分検討していきます。



保存へ一歩、本別川鉄橋

全国一斉学力・学習状況調査は抽出方式に向うが

答 今後の参加は未定ですが調査は有効なものと考えます

阿保議員 全国一斉学力・学習状況調査は「抽出方式」の方向で予算の大幅削減を検討しているとのことですが。

また、教職員団体、識者などが「競争をおおる風潮が広がる」などとして反対の意思を表明していました。

①「抽出調査」に、本町として参加する必要性があるのか、考え方は。

②全国一斉学力テストに参加しなくても、学力の向上を図ることはできると考えるが、見解を伺います。

澤田教育長 これまでテストの調査結果を分析・解析し、

各学校の改善プランを見直しながら、学力向上の取り組みに活用してきました。

①学力向上を図る上では有効な調査と考える

が、今後の対応については実施を希望した場合の経費負担など含め、まったく未定です。

②生活状況調査と合わせ、総合的に分析し学力向上に結びつけるということから、必要なものだと考えます。



地域参観日（中央小）

委員会公示ポルト

産業厚生 常任委員会

調査日 平成21年11月10日

冷湿害による被害の状況と今後の対応

①被害状況

本町農業は、異常気象の影響を受け、特に水はけの悪い土地及び、くぼ地は冠水により豆類の一部廃耕や馬鈴薯、甜菜の腐敗などが見られ、被害総額は、12億9千万円となりました。

②資金対応について

農協プロパー資金（基準金利3.8%）を活用し、農協2%、町1%の利子補給を行い、農家負担を0.8%にすること、貸付期間を10年間とすることなどを農協と協議しています。

③今後の基盤整備計画

基盤整備希望調査では、暗渠排水1,050ha、土層改良83ha、区画整理158haの希望があり、平成23年



冷湿害状況を調査

度以降、道営畑地帯総合整備事業で整備を進めます。事業費負担割合は国52%、道28%、農家負担20%です。

まとめ

近年、大型機械の導入により畑が踏圧され、10年以上経過すると暗渠排水の効果が薄れることから、更新を早めることが望まれます。

基盤整備の遅れている農家への指導と、賃貸借地で基盤整備が必要と思われる畑への積極的な取り組みについて、検討すべきと考えます。



議員・行政側ともに
真剣な議論を期待！



錦町 三井誠子さん

「今まで数え切れないほど議会を傍聴しました」とおっしゃる三井誠子さんにお話を伺いました。

傍聴に行くときは、「新聞に折り込まれる定例会のお知らせを見ながら、その時々話題に期待して議場に来ています。今回は、向陽町団地個別改善計画について関心がありました。」

時には他町村の議会も傍聴されているそうで、「本別町議会もだいぶ良くなってきていますが、まだ審議中や一般質問中に大きな声での私語などが見られます。議員、行政側ともに少し緊張感が足りないのでは。また、役場庁舎内や他の施設でも審議内容を放送されているのを意識してほしいと思います。」

条例改正された議員定数と現行維

持となった報酬については、「私は3人削減は減らしすぎだと感じますし、報酬は今後も減らすべきではないと思います。」

さらに、「議会を傍聴すると、少しでも本別町のがわかります。これからもより多くの方が傍聴されることを期待しています」と話されています。

三井さんは、近くにお住まいのお母さん(90歳)の介護をしながら、数多い役職やボランティア活動をされています。ご自身もオストメイトの障がいを持たれていますが、銀河サロンでは参加者や他のボランティアの方達と一緒にカラオケやダンス、食事などを楽しまれ、活躍されています。

議会日誌

〔 11 月 〕



- 10日 産業厚生常任委員会所管事務調査
- 16日 企画調整部会
- 17日 議会広報特別委員会
- 18日 議会の活性化等調査特別委員会
総務常任委員会
- 20日 議会広報特別委員会
- 21日 北海道横断自動車道
本別IC～浦幌IC間開通式(浦幌町)
- 24日 広報広聴部会、議会運営委員会
議員協議会
議会の活性化等調査特別委員会
- 30日 第4回臨時会、議員協議会
議会広報特別委員会、企画調整部会

〔 12 月 〕



- 2日 十勝議長会役員会(帯広市)
- 3日 議会運営委員会
- 4日 十勝議長会定例会(帯広市)
- 8日 第4回定例会開会、議員協議会
産業厚生委員会視察(地域共生ホーム
きらり)
- 11日 議会運営委員会
- 15日 本会議(一般質問)、議員会役員会
- 16日 本会議(議案審議)
議会広報特別委員会、議会活性化部会
- 24日 池北三町行政事務組合議会(足寄町)

〔 1 月 〕



- 8日 議会広報特別委員会
- 15日 議会広報特別委員会
- 18日 企画調整部会、議会活性化部会
広報広聴部会
- 20日 議会広報特別委員会

3月定例会は2日から

**ナイター議会は9日に
予定しています**

私たちの住むまちの議会です
どなたも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

編集後記

▼庭のバードテーブルにカケスとアカゲラだと思えますが、毎日エサをついばみに来ます。厳寒の中、たくましく生きる姿には感動します▼昨年は、議員定数を現行15人から3人減らして12人とし、今年7月の議員選挙から適用することが決まりました。住民の皆さんの要求をしっかりと町政に反映していくために、新しく選出される12人の議員は、今まで以上の活動が必然的に要求されるものと思います▼議会と住民の皆さんを結び役割を果たすのが「議会広報」です。さらに、全道広報研修会では、「議会広報は町政に対して『野党的視点』を持って編集すべきです」とのこと▼春になれば、野鳥たちも元気に野山を飛び回ることでしよう。当議会だよりも、住民の皆さんに、より愛読されるように頑張ります。今年もよろしくお願ひします。

委員長 阿保静夫